

第51回石川県少年少女柔道大会要項

- 1、目的 柔道を通じて、少年の心身の健全育成に努めるとともに、親睦と友愛を深め、少年スポーツの振興に努める。
- 2、主催 石川県柔道連盟
- 3、主管 全日本柔道少年団石川県連合分団
- 4、後援 石川県・北國新聞社
- 5、日時 **令和8年11月23日(月祝) 午前 9時00分 開会式**
- 6、会場 石川県立武道館 金沢市小坂町西8番の3 TEL 076-251-5721
- 7、参加資格
- (1) 石川県内の小学生児童・生徒であって、全日本柔道少年団石川県連合分団に加入した団体で競技者登録をしている者。
 - (2) (財)全日本柔道連盟に団体登録した団体であること。
 - (3) (2)について、「全日本柔道連盟競技者登録」番号が重複していた選手については出場を認めない。
 - (4) ①【7人制の部】 ②【高学年3人制の部】 ③【低学年3人制の部】 の3部門団体戦とし、各部門に各分団が**複数チームのエントリーを認める**。
但し、1個人が複数チームに重複エントリーする事は認めない。(控え選手を含む)
 - (5) 所属選手の人数が少なく、エントリー困難な分団間の**混成チームの参加を認める**。
混成チームのマッチングは各分団に一任するが、困難な場合には大会事務局にて調整する。
 - (6) 各チームに公認指導者ライセンス保持者の監督を1名要する。(混成チームを含む)
複数チームがエントリーしている分団は、監督の重複エントリーは認める。
 - (7) 控え選手は、出場可能学年には各1名とし、最大6名までとする。(3人制の部は最大3名まで)
 - (8) 各自で下記の要領でゼッケンを縫い付けること。(無ければ失格とする)
①布地は白色(晒太綾)で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm。
②上部 2/3 に苗字、下部1/3 に所属を表記する。書体は楷書で、ゴシック体または明朝体。
③男子は黒字、女子は赤字とする。
④縫い付けの場所は後襟から 5～10 cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付けること。
 - (9) 事故が発生しても主催者は責任を負わない。参加団体は傷害保険等に事前に加入するなどの対策を講じておくこと。
 - (10) 試合のために選手の学年詐称や一時的な所属変更は教育的に良くないので、出場を認めない。

- 8、団体選手編成
- (1) 下記のとおり行方が事故防止のため、同学年の場合は体重の軽い者から順に編成する。
 - (2) 同学年枠内であれば後ろ詰めの必要無し。
 - (3) 控え選手の出し入れは自由とし、試合毎にオーダー表を提出する。
 - (4) 控え選手は同学年枠内であればどこにでも入れ替え可能とする。
一学年上の枠に入れ替え可能だが、対戦相手が二学年上となった場合、安全面を考慮し低学年側の選手の不戦負けとする。(試合を行わない)
 - (5) 一学年上の枠にエントリーは認めるが、未就学児のエントリーは認めない。

①【7人制の部】

順	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将
学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	6年生
控え選手	1人	1人	1人	1人	1人	1人	

②【高学年3人制の部】

順	先鋒	中堅	大将
学年	4.5年生	5.6年生	6年生
控え選手	1人	1人	1人

③【低学年3人制の部】

順	先鋒	中堅	大将
学年	1.2年生	2.3年生	3年生
控え選手	1人	1人	1人

※特に低学年、エントリーに際して技量レベル
体力レベルの見極めには指導者が配慮する事

- 9、試合方法 (1) 試合時間は2分間とする
 (2) 判定基準は、「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価がない又同等の場合は「指導」差2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
 (3) 「指導」の差が1であれば「引分」とする。
 (4) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 ① 団体戦の勝敗はチームの勝者数が多いチームを勝ちとする。
 ② ①で同等の場合は、「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちにする。
 ④ ③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちにする。
 ⑤ ④で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちにする。
 ⑥ ⑤で同等の場合は、引分け同士による代表戦で勝敗を決する。
 引分けが複数の場合は抽選で選出する。
 代表戦においては、通常の2分間の試合を行い、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は、旗判定で勝敗を決する。GSは実施しない。
予選では代表戦を行わない。同点の場合は引き分けとする。
 (5) ① 各チームが複数試合を消化できるように予選を行う。
 予選で2勝したチームが決勝トーナメントに進出する。
 2勝したチームが6チーム未満の場合は1勝したチームの勝率上位チームが進出
 (勝ち点:一本=4、技あり=3、有効=2、僅差=1、引き分け=0.5)
 ② 決勝トーナメントの抽選は予選終了後会場にて行う。
 ③ 各部門、エントリー数が少なかった場合(6チーム未満の場合)には、リンク戦にて2試合行い成績上位2チームにて決勝戦を行う。
- 10、競技規則 国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)及び「国内における少年大会特別規定」を適用する。
- 11、参加申込期日 **令和8年10月17日(土)必着** 所定申込用紙で、下記宛にメールで申し込むこと。
- 12、申込先
- | | |
|---------------|--|
| 大会事務局 加藤 孝之 宛 | TEL 090-3290-1583 |
| メールアドレス | takayuki.beef.kato@gmail.com |
- 13、組合せ抽選
- | | |
|--------|----------------------|
| (1) 日時 | 令和8年11月7日(土) 午後2時 開始 |
| (2) 場所 | 志賀町武道館 1F柔道場 |
- 14、参加料 7人制の部は1チーム7000円(控え選手も含む)・3人制の部は1チーム3000円(控え選手も含む)
- 15、表彰 (1) 【7人制の部】は第1位から第3位まで表彰する。3位決定戦は行わない。
 (2) 【高学年3人制の部】・【低学年3人制の部】についても、第1位から第3位を表彰する。3位決定戦は行わない。
 (3) 【7人制の部】優勝チームには、前回大会【1部】の賞典を授与する。(持ち回り賞典)
 (4) 【高学年3人制の部】・【低学年3人制の部】優勝チームには、前回大会の【2部】・【3部】の賞典を授与する。(持ち回り賞典)
- 16、受付時間 8時～8時20分までに団体受付を行う。(計量は行わない)
- 17、審判員 (1) **各分団1名以上の審判員を出すこと。また1部門に複数エントリーの分団は2名以上の審判員を出すこと。**
 審判員は公認審判員服等着用であること。
 (2) 石川県柔道連盟派遣審判員
- 18、審判監督者会議 **令和8年11月23日(月祝) 午前8時40分～ 1F大会議室**
- 19、道場入場者 試合会場には大会役員、会場係、審判員、監督、コーチ(引率責任者)及び選手以外の入場は認めない。コーチ枠は1チームにつき1名とし、ライセンスは問わないが、事前に届け出ること。
 受付時にIDカードを配布いたします。
(複数エントリーチームの監督・コーチの兼任は認めるが、登録された人数分のみのIDカード配布となるので注意すること。※当日の追加発行は行わない)
 また、服装は審判服に準じたものとする。

20、その他

- (1) 柔道ルネッサンスの普及及び徹底
- (2) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて
 - ① 参加申込書に記載された個人情報
大会プログラム、競技会場の掲示板に掲載されます。
 - ② 競技結果(記録)等
報道機関により、新聞等(写真を含む)で公開されることがあります。
上位入賞の結果は、次年度以降の大会プログラムに掲載されます。
- (3) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」(H24.4.1全柔連)留意してください。
- (4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)の発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会へ出場ができない場合もある。
- (5) 脳振盪対応について(H24.4.1全柔連)選手及び指導者は下記事項を遵守すること
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (6) 各チームの監督並びに帯同審判員への昼食支給は、別途連絡させていただきます。(コーチには支給しない)
- (7) **各分団で掲示用のオーダー用紙を作成して持参すること。**
作成の仕方は、A4用紙を横にし、3人分を縦書きにする。分団名も作成する。
オーダー用紙は、印刷したものでも手書きでも、どちらでも構わない。
(オーダー用紙の印刷データは申し込み確認後、メールにて送付します)
作成したオーダー用紙を分団名が書かれた封筒に入れ、当日持参すること。
- (8) 前年度の持ち回り賞典を忘れずに返還願います。

7人制の部優勝(全日本柔道少年団小松分団)は優勝旗
高学年3人制の部優勝(志賀町少年柔道教室)及び
低学年3人制の部優勝(松任柔道スポーツ少年団)は優勝盾

以上